

いさやま大介 議員活動風景



▶ 平成28年12月 一般質問①



▶ 平成28年12月 一般質問②

一般質問

地域・経済

○六甲山・摩耶山の活性化について



昨年8月に「まやビューライン・六甲有馬ロープウェーの無料運行社会実験」が5日間行われた。まやビューラインの利用者数は8月平均値の約6倍となり、集客実験としては一定の成果が得られた。

一方、待ち時間が1時間半になるなど、**容量を超えた利用者の受け入れ体制の難しさ**などの意見も地元の方からも上がっていた。



むしろ、この実験の成果を、普段の利用者増加にいかにつなげるかという視点が大切であり、

- ①乗客数の少ない曜日をワンコインにする。
- ②休日は、子どもを無料にする。
- ③虹の駅付近の設備を充実させる。

(右写真は、付近にある元摩耶観光ホテル)

といったアイデアを含めて、総合的な議論の必要性を提案した。

★ 活性化に向けて、アンケート結果を踏まえた地元団体との協議の場を設けることを要望した。

教育

○県費負担教職員（小中特別支援学校教職員）の権限移譲について

平成29年4月からの県費負担教職員の権限移譲に伴う定数運用の工夫により、神戸市は「**総務・学習指導担当**」教員を、順次設置していく。これは、**小学校教頭の多忙化対策**や**児童の学力向上**を主な目的にしたものである。また、**人事評価制度が小中特別支援学校の教員に導入**される。評価結果の処遇への反映により教員のやる気や指導力を向上させるひとつの方法とは考えられるが、職務の性質上、教員評価の難しさも感じられる。

★ 権限移譲に伴う「教育改革」についての質疑を行った。

国際交流・経済

○アフリカ・ルワンダ共和国との経済交流について

「神戸市は、ルワンダ共和国とICT(情報通信技術)分野を中心に経済交流を進めている。

この交流の狙いや今後の展開はどのようなものか。」という質問に対し、『アフリカ大陸で最もビジネス環境が優れた国だと指摘されているルワンダ共和国は、IT(情報技術)産業の発展による経済発展を目指している。

今後の経済交流などで、神戸市内を中心としたビジネスチャンスの拡大が期待できる。また、経済連携に関する共同宣言に署名したが、**神戸とルワンダの都市・キガリがそれぞれ日本とアフリカのゲートウェイになり、相互にメリットのある交流を進めていきたい。**』とのこと。



国策の一環で、神戸情報大学院大学(KIC)にはアフリカからの留学生が60名以上在籍しており、最も多い国がルワンダで12名を受け入れている。(左写真は授業風景)

その機会を活かし、神戸市はJICA、KICなどと連携して、現地視察や交流イベントを開催。

★ 人材交流、ビジネスマッチングを含めた今後の成果に期待したい。